

千歳地区主催大会における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

2020.7.18

千歳地区サッカー協会4種委員会

HKFAから8月以降の大会・イベントの実施にあたってのガイドラインが示されました。千歳地区4種委員会では、地区の実情や育成年代としての課題に配慮してガイドラインを簡素化し、以下に示します。子どもたちや関係者の命や安全を第一に考えながら、円滑に大会を実施できるように各チームのご協力をお願いいたします。

【大会等の開催における基本要件】

- ①主催者及び参加チームはそれぞれ**感染対策責任者を設置**し、**感染対策責任者が中心となって、すべての大会関係者が協力して、チーム関係者のみならず、応援も含めた会場にいる方すべてに対しての安全への配慮(呼びかけ、注意、啓発)を行う。**
- ②密状態を避けるために多くのチームが一斉に同じ会場に集まらないようにする。
- ③施設に観客も入場させる場合には、観客同士が密な状態とならないような措置を講ずる。
- ④**参加者全員の健康チェックシートの回収**と内容のチェック、実施後4週間の保管
- ⑤「新しい日常」「新しい生活様式」への適応を原則とする。・参加者の毎日の検温を徹底 ・三密を避けるなど自己感染回避 ・ソーシャルディスタンスを踏まえた会場設定 ・手洗い徹底の呼びかけ 等を徹底する。

【主催者側の対策】

- (1)体調不良者がいることによる出場辞退・キャンセルは随時可能とする。(参加料は返金しない)
- (2)参加チーム用**チェックシートを回収**し、各チームの対策状況を把握する。
- (3)会場に入る際、または大会の途中においても適宜手洗いまたはアルコール消毒ができるような場を確保する。
- (4)主に参加者の手が触れる場所を定期的にアルコール等で消毒する。
- (5)人を密集させない環境を整備。**(喫煙場所を設置しない等)**
- (6)会場に入る定員をいつもより少なく定め、入退場に時間差を設けるなどの工夫をする。
- (7)複数のチームから感染者または感染の疑いのある選手・指導者が出た場合には、大会そのものを延期または中止とする。
- (8)選手証確認時に選手・指導者全員の**健康チェックシートを回収**し、内容を確認する。**必要に応じて参加者の検温を実施**し、発熱や体調不良の方には帰宅してもらう。

【参加チームの対策】

- (1)直近2週間以内に選手・指導者に感染確認があったチームは出場停止とする。
 - ・該当の試合は延期して実施の方向で。実施できない場合は不戦敗扱い。
- (2)大会参加禁止の規定(選手・指導者・審判)
 - ・当日37度以上の発熱がある方、咳が出る方
 - ・新型コロナに感染の疑いがある方。
 - ・家族や同居親族が新型コロナに感染している。または濃厚接触者と認定された方がいる。
 - ・**「健康チェックシート」を記入・提出していない方、虚偽の記入をした場合。**
- (3)試合を行う上での留意点
 - ・参加チームは、**直近2週間、選手に体調・体温を確認させ、当日「健康チェックシート」を回収する。**
 - ・試合時の選手以外はマスク着用、ソーシャルディスタンスを保ち、密にならない。
 - ・試合前、試合後に向かい合っでの挨拶はしない。ベンチ挨拶はしない。
 - ・円陣、握手、ハイタッチ、ハグ等は禁止する。
 - ・ベンチから声を出す機会を最小限にする。やむを得ず大声を出す場合はマスクを着用する。

【保護者・家族など来場者への対応】

(1) 選手・指導者以外の入場者について

- ・選手の家族以外の入場・観覧は原則禁止し、できるだけ来場人数を少なくしてもらう。
- ・保護者、兄弟等も来場前に検温し、発熱や体調不良の場合は来場しない。
- ・チームの感染対策責任者は来場した保護者等の氏名を把握しておく。
- ・選手の送迎に当たっては、複数の家族が同乗することにならないようにする。

(2) 来場禁止の規定(選手・指導者・家族含む)

- ・37.5℃程度以上の発熱がある方、感冒症状等のある方、体調が悪い方。
- ・過去2週間以内に感染拡大している地域や国への訪問歴がある方
- ・新型コロナに感染の疑いがある方、家族や身近な人が新型コロナに感染している方。
- ・直近2週間以内に濃厚接触者であった方。

(3) 入場者の注意事項

- ・入場者は常にマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。
- ・指導者、選手たちとは常に距離を保つ。
- ・ピッチサイドに集合しての応援禁止。声を出しての応援も禁止。

【その他】

(1) 会場施設の使用にあたっては、サッカー関係以外の来場者との接触をさけるため必要以外の施設には入らない。

(2) テントやタープで休憩する際には、密にならないように留意する。

(3) トイレは指定された場所を使用し、使用後の手洗いや手指消毒を徹底する。

(4) 会場内での食事は極力控える。

(5) 会場で発生したゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、持ち帰る。

(6) 気温が高くなる夏季においては、熱中症を発症するリスクが高まることから、こまめな水分補給を心がけることを徹底し、屋外で人と十分な距離が確保できる場合には、マスクを外しても構わない。

(7) 「健康チェックシート」への記載事項 ※様式が異なっても以下の内容が記載されていること

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先 ※未成年の場合、保護者の氏名、住所、連絡先が必要
- ② 直近2週間前から当日朝までの体温
- ③ 競技会前2週間における以下の事項の有無
 - ・平熱を超える発熱、咳(せき) ・のどの痛みなどの風邪症状 ・だるさ(倦怠感)
 - ・息苦しさ(呼吸困難) ・臭覚や味覚の異常 ・体が重く感じる、疲れやすい
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 等

(8) 事後対応

- ① 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意しながら、イベント等当日の参加者から取得した書面や健康チェックシートを、少なくとも1ヶ月保存しておく。
- ② 終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は開催自治体の衛生部局や保健所に速やかに報告する。
- ③ 開催自治体の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合には、大会の延期や中止を検討する。(万が一大会途中で中止した場合の上位大会代表の決定方法を事前に確認しておく。)

以上の対策を実施した場合でも、感染リスクをゼロにすることはできません。事業の主催者及び参加チームは、その点を理解した上で、各大会への参加をしていただくとともに、関係者への周知・徹底を行ってください。